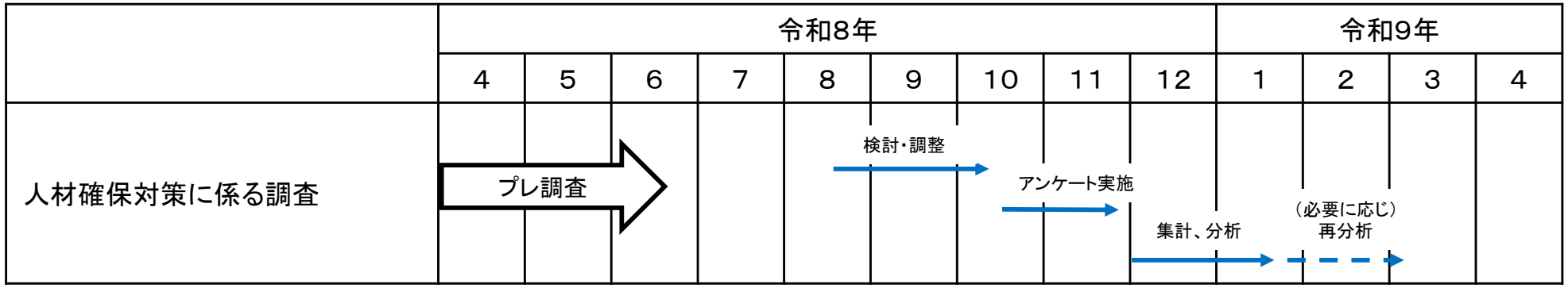
資料4

人材確保対策に係る調査の実施状況

人材確保対策に係る調査の実施状況

国土交通省



【プレ調査の概要】

令和8年6月までに実施した自動車整備事業者20社へのヒアリングでは、事業規模・業態によって課題と投資余力が異なる一方、①資格取得済み整備士の定着、②資格未取得者の採用・育成、③女性・60歳以上・外国人材の活用、④従業員の高齢化、⑤業務分担・予約制・機械化・DX等による省力化が共通論点として確認された。また、顧客が法人中心なのか個人であるかにより休日・残業等の業務負荷の構造も異なる等、事業特性を踏まえた分析も必要との結論に至った。

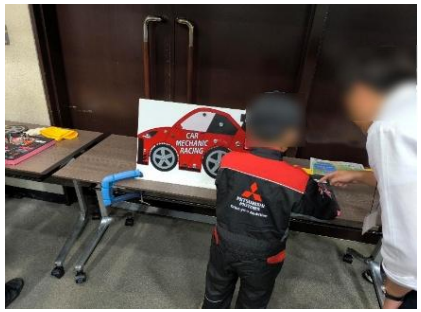
【人材確保対策に係る調査（アンケート方式）の概要】

調査対象	主な調査内容	備考
自動車整備事業者	・法人基本情報 ・資格取得者の採用、定着、活躍の状況 ・非資格取得者の採用、育成の状況 ・多様な人材の受入、活躍の状況 ・今後の人員構成の変化への対応　等	・事業内容や規模、従業員の構成と、各種課題や取組との関係性を分析。効果の高い取組の成立事例と、未実施の場合の障壁について検討
整備士資格取得者	・現在、自動車整備士として従事の有無 ・従事していない場合は、自動車業界内 or 異業種の別 ・離職しなかった ｏｒ した理由 ・離職後の状況 ・資格取得後他の業種へ就職した理由　等	・離職理由である改善すべき職場要因と残留／離職を左右する要因について分析 ・整備士以外を選択した他の要因の把握
非資格取得者	・従事している業務 ・勤務形態、制約 ・資格取得の意向 ・就業拡大の可能性　等	・女性、シニア等の多様な人材について、限定した業務範囲、柔軟な働き方等による戦力化の可能性を検証

各種整備士PRイベントでの取組み

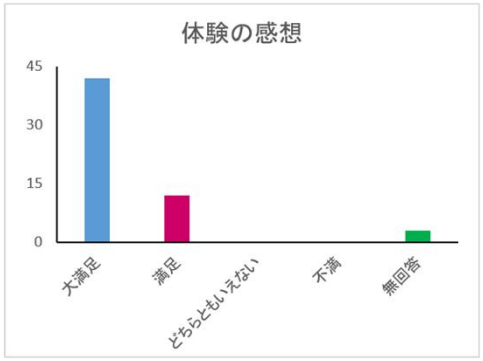
国土交通省

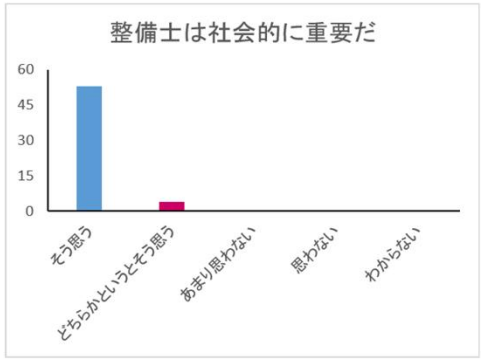
令和8年7月29、30日に実施されたこども霞が関見学デーにおいて、整備士体験イベントを実施
ジャパンモビリティショーで実施した内容のうちネジ締め体験及びつなぎ着用を実施、総合計80名が体験し、保護者向けアンケートについては57件の回答があった。

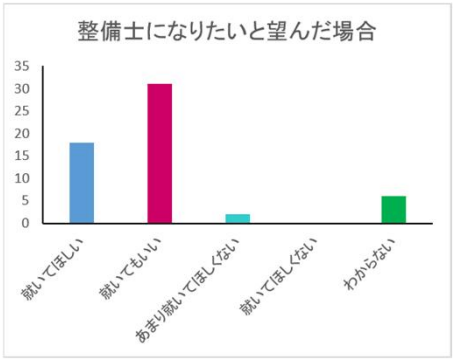




【アンケートの概要】

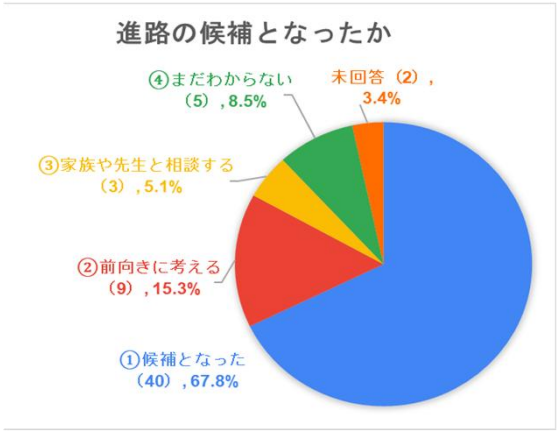




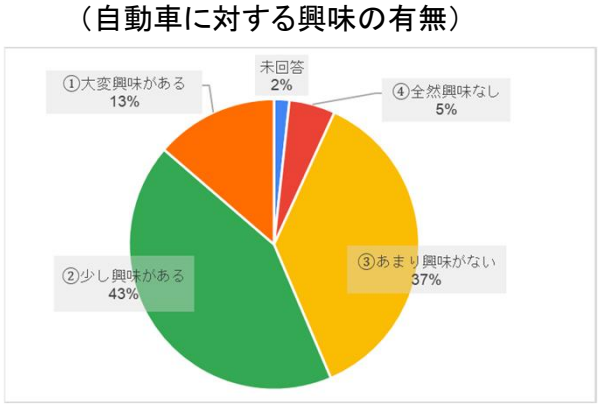


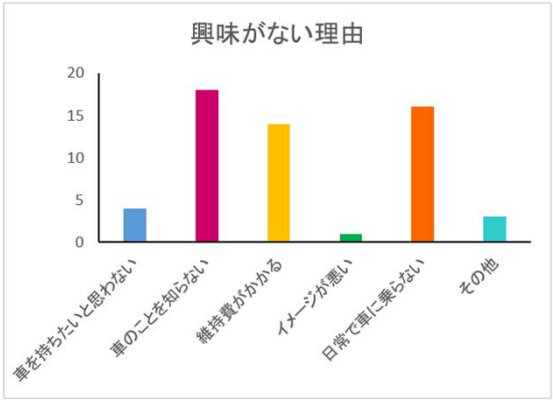
令和7年度、高校生を対象とした①自動車整備士体験（64名）、②自動車整備工場等の見学（117名） を実施

【①整備士体験】



【②整備工場等見学】





約50名ほどが自動車に興味を持っていなかったが、117名全員が「見学を通じて整備士の重要性が理解できた」と回答があった。